

埼玉育ちのグローバル人

～アクティブで行こう！な私の生きる道～

第2回「行動力こそがすべて

～充実した学生生活と社会人生活～

英語講師 芝田 絵梨佳



埼玉県マスコット「コバトン」



充実した学生生活と社会人生活

〈部活に打ち込んだ高校生活〉

第一章で書かせて頂いた通り、高校では女子サッカー部に所属しておりました。

体づくりのため、ファストフードや炭酸飲料を摂取しないようにしていました。また、家に帰ったらサッカー日記をつけ、やったこと、反省点など書き記していました。また、朝練にも参加し、なるべくボールに触るようにしていました。今思うと、今までの人生で一番ストイックに生きたときでした。

〈高校から先の進路〉

高校では外国語学科に所属しており、一般のクラスより英語の授業が多いほか、第二外国語を勉強できました。第一章では、第二外国語としてスペイン語を選択した話までさせて頂きました。私は卒業しても二つの言語を勉強し続けたいと思い、それが叶う専門学校に進学しました。その専門学校とは神田外語学院です。

この学校では午前と午後の科目がはっきり分かれていて、私の場合は英語と専攻していたスペイン語でした。英語の授業はネイティブの先生とのオールイングリッシュクラスです。パソコンの授業もありましたが、それさえも英語での授業でした。また、スペイン語の授業もスペイン、アルゼンチン、メキシコの先生からスペイン語で学び、

文法のクラスだけ日本人の先生から授業を受けていました。

専門学校時代は、好きな英語とスペイン語しか勉強していませんでしたし、同じ分野に興味がある友達と交流できるのがとても楽しかったです。空いている時間には、校内にある日本語禁止の自主学習施設兼図書館でアルバイトをしていました。また、学校の広報活動にも積極的に参加し、オープンキャンパス運営や入学を考えている高校生または保護者の相談にのったり、学校生活の紹介をしたりしていました。

〈専門学校時代の就職活動〉

私が勉強していたスペイン語は他の学科と違って職業の専門性がないため、スペイン語を活かした仕事を探すのが大変でした。学校推薦で受けられる空港での案件があり受けることに決めていたのですが、私は、校内面接日をすっかり忘れていたのです！



《学校で有名なアラン先生》

恥ずかしいことに、その日は校内ハローウィンパーティーで、かぼちゃのコスチュームしか持っておらず、面接を受けることができませんでした。恥ずかしすぎて誰にも話すことができず、私の就職活動に対する考えの甘さを痛感し、その日を境に、本気で就職活動を始めました。語学を勉強してきたので、狙いは航空会社や空港の仕事でした。外資系航空会社や日系航空会社も受けましたが、いい結果には結びつかず、専門学校も卒業に近づいてきた頃、新たに受りたい空港の仕事が見つかりました。卒業間近の2月にその空港の仕事の合格通知があり、専門学校卒業後の6月に成田国際空港で働くことになりました。

〈毎日フル稼働！な社会人一年生時代〉



《インフォメーションスタッフ時代》

空港での仕事は、案内所でのお客様対応やコールセンターでのご案内が主でした。華やかな世界に憧れて入社しましたが、インフォメーションスタッフは覚えることがたくさんあり、最初の一年を乗り越えるのが大変でした。当時は第一ターミナル、第二ターミナルの二つのターミナルしかありませんでしたが、空港内にあるお店の場所、営業時間、売っている物など、全ての情報を知っていなければなりません。また、成田空港に乗り入れている航空会社はたくさんありますし、期間限定で運行する航空会社もありました。LCCの

航空会社が使われるようになってきたころでしたので、普通の航空会社と違って案内が色々と複雑でした。業務は日本語はもちろん、英語でこなしました。

第二外国語ができるスタッフには名札に言語表記があり、私はスペイン語が話せるスタッフとして勤務していましたが、案内所勤務のときは、スペイン語通訳の出番はあまりありませんでした。しかし、入社三年目のときに部署異動の話が総務から出ました。

〈外資系航空会社のグランドスタッフの仕事〉

異動先は、主に中南米方面の乗り継ぎに使われる航空会社でのグランドスタッフとしての勤務でした。異動話ができたきっかけは、私が、英語以外にスペイン語を話すことができるからとのことで、色々なことを経験したいという思いから受け入れました。案内所勤務の時よりもスペイン語を使うことが増え、学んできた語学力を活かす機会に恵まれました。

チェックインカウンターでは、必要なビザを持っているか、パスポートの期限が切れていないかなどの確認、飛行機にスムーズに搭乗できるようチェックインを促すことを英語やスペイン語で行いました。乗り継ぎの対応では、お客様と一緒に搭乗口まで走ることもありました。また航空機内での座席や収納荷物関係のトラブルなど、グランドスタッフの業務範囲は多岐に及びました。

このように忙しい日々を送っていましたが、家族の不幸により実家に戻るべく退社することになりました。それから、埼玉に戻り実家から通える仕事を探すのでした。

日本の玄関口である空港で三年間働いたことで、更に海外に出たいという気持ちが大きくなった私。退職した三年後には単身、南米のボリビアに渡り日本語教師として働くことに！私を突き動かしたものはいったい何だったのか？！

次号最終回、乞うご期待です！